

広告業協同組合 / 2018.3

関東経済産業局認可（昭和33年創立）
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-26（芝信神田ビル）
TEL.03(3251)6900 FAX.03(3253)3488

平成30年

広告業協同組合新年祝賀会



ACA新年祝賀会 来賓と和やかに懇談

平成三十年広告業協同組合新年祝賀会は、一月十八日（木）正午より、東京都千代田区一ツ橋の如水会館において、「ACA新年会実行委員会」主催のもと、マスコミ四媒体および関係諸団体の来賓と会員各社から三百三十名が集い、盛大に開催された。

和納勉理事長は、年頭挨拶で、「大きく時代が変化していくからこそ、広告業界にとって大いなるチャンスがあると思っております。このチャンスの年、ACAは六十周年を迎えます。『共に成長するベストパートナーACA』を目指して引き続き活動してまいります」と挨拶した。

続いて、ご来賓を代表されて、一般社団法人 日本広告業協会理事長 成田純治様（株博報堂 取締役相談役）より、ご祝辞をいただいた。成田理事長は、「広告、コミュニケーションという仕事は、人々に夢と、そして希望を膨らませ、社会に活力を与えるものです。皆様と一緒に新しい広告の目標を掲げ、業界全体を盛り上げ、新しい広告ビジネスの未来づくりに、そして、若い人があこがれる広告業界を作っていきたい」と祝辞を述べられた。

引き続き、一般社団法人 日本新聞協会広告委員会委員長 納幸一郎様（産経新聞東京本社 営業局長）は、「新聞オーディエンス調査で、新聞がどう見られているかを調査しています。この調査で、若い人が、大きな事件や事故、イベントのあった次の日、新聞を見る傾向率が他の年代よりも大きいことが分かりました。この調査結果を活用いただきたい」と述べられた。納委員長のご発声により、一同が乾杯し、新年の門出を祝った。

このあと、広告業協同組合 小松茂専務理事が、ご参集の皆様の会社のご繁栄と皆様のご健勝を祈念して、中締めを行った。

大いなるチャンス之年

広告業協同組合 理事長 和納 勉

皆様、あけましておめでどうございませう。ただいまご紹介いただきました、広告業協同組合（ＡＣＡ）の理事長をいたしております和納と申します。

本日はお忙しい中、ＡＣＡ新年祝賀会にお集まりいただき誠にありがとうございます。主催者を代表いたしまして高い席からではございますが、お礼申し上げます。

さて、今年も成年、この成年にはいろいろな事が起きるようです。過去に比べれば天災の多い年であったようですが、また一方では美り多き収穫の多い年とされておりませう。

経済環境も適温経済と言われ、景気の良い実感はあまりありませんが、各社の企業業績を含めて経済は好調と言われております。新年からの株価の上昇がそれを表しているようです。

その中において広告業界は、大きな変化が引き続き起ってゆく年ではないかと思われませう。Webメディアからスマートフォンへとデジタルメディアの進化と共に、ソーシャルメディアが大きな影響力を持ち、新

い広告手法が次々と生まれ、変化の波がますます大きくなって参ります。また既存メディアとの融合や適正化が進んでいくと思われませう。

ここで昨年末に訪れました中国上海の話を紹介させていただきます。ご存知のように、中国ではさまざまな変化が起ってまいす。今回訪問して驚いたことが三つありませう。

た。スマホをなびきして支払いが出来る、現金を持たない社会になっている事や、レンタサイクルの普及です。赤や黄、緑といった原色に塗られた自転車、いたるところで見受けられ、一般の人が活用していることませう。

最後に驚いたことは、地下鉄で若い女性がスマホを見ている乗客に、紙に書いたQRコードを読み取ってもらうように、一人一人に声をかけていくプロモーションです。どうやら新しいお店の開店のPRのようでした。

「このQRコードを読み込んでください。特典がありますよ」と言っているようでした。スマホが日常生活に欠かせないツールとして普及しても、個人へのプロモーションは必

ず必要なからです。広告の手法は変わっても、広告ニーズは必ずあると思いましたが、ご紹介させていただきました。

また昨年は、AIスピーカーが話題となり、AIやIoTの未来社会が、大きくマスコミに取り上げられました。このような動きもセールスプロモーションの在り方を変えて行く動きではないでしょうか。

大きく時代が変化していく時こそ、広告業界にとつては大いなるチャンスがあると私は思っております。この

チャンス之年、ＡＣＡは、六十周年を迎えます。『共に成長するベ

ストパートナーＡＣＡ』を目指して引き続き活動してまいります

が、ＡＣＡにとつても新しい時代に対応する組織として、今までの在り方を見直しするチャンス之年とも捉えております。改革をおこなうとともに、広告

業界全体の発展にも寄与してまいります。何卒引き続き皆様のご支援を賜りますようにお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。（拍手）



中締めのご挨拶

変化に合わせた組織づくり

広告業協同組合 専務理事 小松 茂

皆様、年初のお忙しいなか、多数ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

冒頭のご挨拶の中で成年という言葉が出てまいりましたが、成年は、結果つまり今までの努力が報われる年です。それと同時に、

犬の持つ優れた嗅覚と聴覚により、先を見据えていく種をまいていく年でもあります。

今年も、ＡＣＡも時代の変化に合わせて、組織を変化させていかなければならない年ではないかと考えています。

これは試行錯誤をしながら、時代の流れに対応した組織づくりを目指してまいります。そのためには、本日、ここにご臨席賜りました皆様方にご指導とご鞭撻をお願いしなければなりません。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

ここにご臨席賜りました皆様とともに、皆様の会社のますますのご発展と皆様のご健勝を祈念し、また同時にＡＣＡの飛躍を願って関東の一本締めを行います。

それではお手を拝借。

（一本締め）

どうもありがとうございます。（拍手）



賀春 2018年 広告業協同組合 役員一同

理事長	和納 勉	(株)クイック 代表取締役社長
専務理事	小松 茂	東栄広告(株) 代表取締役
常務理事	新田 修平	(株)ユアーズプランニング 代表取締役
常務理事	谷澤 律	(株)千代田広告社 代表取締役社長
常務理事	佐藤 孝	(株)リクルーティングサービス 代表取締役
理事長代行	山上 徳夫	(株)広テールホールディングス 代表取締役
理事	桐澤 義朗	(株)朝日オリコミ 取締役
理事	中筋 哲久	(株)アド・エヌ 代表取締役
理事	金澤 隆夫	(株)アドボード 代表取締役
理事	新井 利和	(株)コーセンドー 代表取締役
理事	井上 慶悠	(株)宏和デザイン 代表取締役
理事	小島 正登	(株)小島折込広告社 代表取締役
理事	岩淵 早樹	(株)サン・アド 代表取締役
理事	吉井 雄二	(株)産経広告社 代表取締役社長
理事	松本 正治	(株)サンヨー 代表取締役
理事	星野 順行	(株)スカウト 代表取締役
理事	今井 祥雅	(株)マインドシェア 代表取締役
理事	米倉 伸三	(株)ミイレー 代表取締役社長
理事	星野 時夫	(株)リビコー 代表取締役会長
理事(員外)	八巻 正己	広告業協同組合 事務局長
監事	佐々木直人	(株)大宣社 代表取締役
監事	大津 裕司	(株)日宣 代表取締役社長

ご来賓代表ご祝辞

広告ビジネスの未来づくりを

一般社団法人 日本広告業協会 理事長 成田 純治様

日本広告業協会の成田でございます。明けましておめでとうございます。

広告業協同組合の新年祝賀会に、お招きいただきまして、感謝申し上げます。

ただ今、和納理事長が今年の干支の話をされましたが、私もそのお話をしようかと思っ

ています。一部ダブルところがありますが、一言ご挨拶させていただきます。

今年は、ご承知のように戌年であります。が、単なる戌年ではなく、六十年に一度の戌戌という年です。ちょうど百二十年前には大隈重信内閣が成立し、藩閥政治から政党内閣に変わった大きな変革の年と言われております。

そして、六十年前の一九五八年には、民間から美智子妃殿下、当時の美智子様もご存じの長嶋茂雄さんがプロ野球に入った年でもあります。そして、東京タワーが完成し、テレビの時代が幕開けした年でもあり、我々の周りが大きく変わった年でした。このように、戌年は大きな変化が来るのではないかと予想されます。

昨年、トランプ大統領が就

任し、その言動に世界中が動かされ、また今北朝鮮の問題で世界は極めて不安定な状況になってきています。

新聞で拝見しましたが、今年、不気味な時代へ突入したのではないかとという方もおられ、そのように新聞にも書いてありました。が、周りを見ていきますと、不確定以上にちょっと気味の悪い時代に入ってきたのではないかと思います。

しかし、景気環境を見ますと、世界経済が大きく伸びている中、日本経済の好調も感じています。

ちなみに、三月の上場企業の決算では、最高益を計上する企業がかなり多く見込まれています。一部では、三パーセントのベアアップが行われるのではないかとと言われており、それが消費に回ってくると、かなり我々の回りも変化してくるのではないかと期待しております。また、広告のシェアが上がることも期待できるのではないかと思います。

さて、我々の広告業界は、デジタルテクノロジーの進化、変化で、広告ビジネスの根幹が大きく変わってきております。すなわち、人々のコミュニケーションの取り方が、変化してきており、私どもが作るクライアントに対するメッセージ、クライアントが発する

メッセージなどが、なかなか人々に伝わりにくくなっているのではないかと思います。どうすれば伝えられるか、我々の知恵の出どころでもあります。

また、広告ビジネスに、新しいパフォーマンスが登場してきているのも事実です。ソリューション系の企業が、デジタルテクノロジーを駆使し参入してきています。広告ビジネスの領域、市場が広がっていくということも、また期待できますが、我々としても、その分チャレンジしていかねばならないと感じております。

広告、そしてコミュニケーションという仕事は、人々に夢を、そして希望を膨らませ、社会に活力を与えるものであると思います。世に無くてはならないビジネスでもあり、また皆様と一緒に新しい広告の目標を掲げ、業界全体を盛り上げ、新しい広告ビジネスの未来づくりに、そして、若い人があこがれる広告業界をぜひ作っていききたいと思っております。

広告の元気は、日本の元気とも言われています。ぜひ、今年も、皆様と一緒に、広告業界の発展に頑張っていきたいと思っております。

本日は、お招きいただきまして、誠にありがとうございました。(拍手)

ご来賓代表ご祝辞・乾杯

新しいビジネス手法の研究

一般社団法人 日本新聞協会広告委員会 委員長 納 幸一郎様

新年おめでとうございます。ただいまご紹介いただきました。日本新聞協会広告委員会の委員長を務めております産経新聞社の納でございます。よろしくお願いたします。

本日は、広告業界の皆様がお集まりです。一言ご挨拶申し上げます。

年末から新年にかけて各新聞に掲載された特集記事で、特に目立ったのが、AI、IoTなどデジタル関係の記事でした。

平成の時代が間もなく終わります。今年は、そのタイミングで、平成を振り返る記事が各紙に出ていますが、三十年前と現在では大きく違うことに驚きました。

つい先日、アメリカで開催された家電見本市が大きく報道されてきました。自動車メーカーが前面に出て、まるでモーターショーのようでした。自動車は、EV化が進み、AI、IoTを駆使し、移動のための手段から自動車の中でのような活動ができるかに視点が移りつつあります。まさに自動車の概念が変化しています。ITビジネス関連企業、家電・電機メーカーは、自動車メーカーと一緒に新しいものを作ろうとしています。AIは、自動車メーカーに限らず、多くの産業に影響をもた

らしています。メディアも大きな影響を受けており、新聞ビジネスもこれらに活用していくかが非常に大切だと思います。新聞記事によるゼネラルモーターズは、ハンドルもペダルもない、手動のスイッチ類もない自動車を二〇一九年に公道で走らせるようです。三十年前では考えられない世界が近づいています。世の中が変わり、我々も変化していかなければなりません。

ここで、新聞協会広告委員会の活動をご紹介いたします。一つは、長年行ってきた「全国メディア接触・評価調査」を、「新聞オーディエンス調査」に改めました。この調査では、メディアへの接触状況を定量的に観測するほか、インターネットを駆使して、三百六十五日、新聞がどう見られているのかについても調査しています。

この調査で、十八歳から二十九歳の若い人が、大きな事件や事故、イベントのあった次の日に、新聞を見る傾向率が他の年代よりも大きいことが分かりました。

去年は、スポーツイベントや総選挙があり、今年は冬季オリンピック・パラリンピックがあります。非常に興味深い数字が出てくるのではないかと予想しています。皆様も、新聞をお使いいただくときには、この調査結果をぜひ活用いたしたいと思います。

それから、新聞協会広告委員会では、長年、新聞広告のプロモーションとそれに付随した活動を行ってきましたが、今年から、それに加えて新たな新聞ビジネスを調査研究していくことにしました。各新聞社は、新聞社の持つ経営資源をいかに新たな収益源にするか積極的に検討しています。新聞協会広告委員会でも、こうした事例を集め、新聞社と連携すれば、新たなビジネスチャンスが生まれることを積極的にアピールしていきたいと考えております。ぜひ、期待していただきたいと思っております。

皆様には、昨年以上に新聞社に足を運んでいただき、また、我々も皆さんの元へ通わせていただくことで、新しいビジネス手法をお伝えし、一緒に広告主への新たな提案を考えていきたいと思います。何とぞ、よろしくお願いたします。

それでは、乾杯に移りたいと思います。広告業協同組合の今後のますますのご発展と、ここにご参集の皆様のご繁栄、さらに皆様のご健勝を祈念し乾杯いたします。

それでは、大きな声でご唱和をお願いいたします。

乾杯！
ありがとうございました。(拍手)





ご参加の皆様

共に成長するベストパートナーACA



広告業協同組合行事記録

●第58回通常総会(コートヤード・マリオット銀座東武ホテル)
平成29年

5月18日(木) 第1号議案・平成28年度決算承認の件(承認)。第2号議案・平成29年度事業計画・収支予算決定の件(承認)。

第3号議案・役員選出の件(承認)。記念講演・会員社の集い。

●役員会・三役会(㈱一広グループホールディングス会議室)

4月20日(木) 平成28年度決算案、平成29年度予算案(承認)。理事退任の件(承認)。入退会の件(承認)。慶弔花の価格改定の件(承認)。「働き方改革・Indeedセミナー」実施案(承認)。

6月15日(木) 新役員・新理事の部会担当案(承認)。「夏の例会」実施案(承認)。「経営懇談会」実施案(承認)。

7月11日(火) (コートヤード・マリオット銀座東武ホテル会議室)

入会の件(承認)。「ACAの未来を考える会」設置の件(承認)。慶弔花の賞書の件(承認)。

9月20日(水) 新年祝賀会実施案(承認)。「海外広告ビジネス研修(ベトナム ハノイ)」実施案(承認)。「LED照明器具」契約の件(承認)。

11月15日(水) 「冬の例会」実施案(承認)。「新入社員実践研修」実施案(承認)。「助成金活用新卒社員研修実施案(承認)。「AIセミナー」実施案(承認)。部会費についての内規案(承認)。

12月21日(木) (コートヤード・マリオット銀座東武ホテル会議室) 入会の件(承認)。「コーポレートカード」契約終了の件(承認)。



●経営懇談会

9月6日(水)・7日(木) 懇親会Ⅱ「かに本家(札幌市)(26名参加)。ゴルフコンペⅡ「ニドムクラシックコース」(苫小牧市)(25名参加)。

●第17回海外広告ビジネス研修参加者説明会

10月16日(月) 組合会議室(11名参加)。
●第17回海外広告ビジネス研修(ベトナム ハノイ)
11月2日(木)～5日(日)(ベトナム ハノイ)で実施。訪問研修3社(PIXTAVIETN

2月15日(木) 入会の件(承認)。「ACAカップ」実施案(承認)。会報公募の件(了承)。

●平成30年ACA新年祝賀会
1月18日(木) (如水会館スターホール) (招待者、会員社、特別会員社より330名参加)。

●組合例会(講演会・懇親会)
7月11日(火) 「夏の例会」(コートヤード・マリオット銀座東武ホテル) 講演会・懇親会(112名参加)。



12月21日(木) 「冬の例会」(コートヤード・マリオット銀座東武ホテル)

ロータリーベンチャーズ
ライブ・懇親会(抽選会)(137名参加)。

●ACA「新入社員実践研修」
4月5日(水)・6日(木)・7日(金)(TKP浜松町ビジネスセンター) 講師Ⅱ澤田顕氏(14名参加)。

●ACAカップ懇親ゴルフ会(東日本大震災チャリティゴルフコンペ)
4月19日(水) 相模原ゴルフクラブ(33名参加)。

●経営情報研究会セミナー
5月26日(金) 銀座会議室
1部「働き方改革について」
2部「Indeedについて」(48名参加)。
11月27日(月) 銀座会議室

「ゼロからわかるAI×広告業界講座」講師Ⅱ(㈱リトルクラウド 代表取締役社長 神原太郎氏(61名参加)。

am、Vietnam works、ESNETWORKS VIENTAM (15名参加)。

●全国広告業団体連絡会議

4月28日(金) 平成28年度後期事務局局長会議(日本広告業協会会議室)
10月6日(金) 平成29年度総会(帝國ホテル)・平成29年度前期事務局長会議(日本広告業協会会議室)

●部会活動状況

1. 組織強化部会

「ACAの未来を考える会」をスタート。部会開催日Ⅱ7月3日(役員会)／11月8日(役員会) ACAの未来を考える会開催日Ⅱ9月13日／10月18日／11月14日／2月7日

2. H・I・D(国際・研修)部会

「新入社員実践研修」(4月)、「海外広告ビジネス研修(ベトナム ハノイ)」(11月)、「夏の例会講演会」(冬の例会、公演会)を開催。部会開催日Ⅱ5月10日／7月13日(役員会)／8月22日／9月4日

3. 事業推進部会

「LED照明器具」を導入。部会開催日Ⅱ4月13日(役員会)／5月11日(役員会)／8月24日／9月12日／3月7日

4. 経営情報研究部会

「働き方改革・Indeedについて」セミナー(5月)、「ゼロからわかるAIセミナー」(11月)を開催。部会開催日Ⅱ8月3日／10月5日／2月14日

5. 広報取引部会

「ACA REPORTS」を2回(9・3月)発行。「お役立ちメール」を月1回発信。部会開催日Ⅱ10月19日／11月22日／2月15日

6. 親睦部会

「ACAカップ・ゴルフ懇親会」(4月)、「経営懇談会」(9月)、「夏・冬の例会」における「懇親会」を開催。部会開催日Ⅱ5月16日／8月7日／1月16日

7. 選挙対策管理運営委員会

役員改選にあたり役員選挙を実施。委員会開催日Ⅱ4月26日

「損害保険 生命保険」のことなら東京海上日動生損保代理店

日本リスクマネジメント(有)まで!!

TEL.03-3311-7540 FAX.03-5305-3685

〒166-0015 東京都杉並区成田東3-6-3

mail:nihonvns81@jcom.home.ne.jp フリーダイヤル 0120-363-757

スマートフォン) 精度の向上とSNS普及によりアマチュアのレベルが高く、ロイヤリティフリーの画像がプロと遜色ない写真がより多くなる

ことが、市場拡大のファクターとなっています。
※使用頻度が高いクリエイター(投稿者)には、頻度に合わせたインセンティブが支給されるため、より精度の高いコンテンツが集まりやすい環境

Vietnam Works研修報告書

(株)リクルーティングサービス 坂口 洋輝

1. 研修名: A C A 海外広告ビジネス研修(ベトナム・ハノイ市)
2. 日時: 2017年11月3日
3. 講師: Vietnam Works 柴田洋明氏 倉重紗弥花氏
4. 研修内容:
ベトナムにおけるVietnam Worksの取り組み
ベトナムでの求人広告・人材紹介・転職フェア運営を行う企業
エンジャパンの100%子会社
5. Vietnam Worksの説明内容:
5. 1. ベトナムの求人・経済マーケット状況について
5. 2. ベトナムでのVietnam Worksの成果
6. 研修での知識面での学び:
6. 1. ベトナムへの進出理由として、労働人口が豊富、国民の平均年齢が若い、今後GDP成長が見込めることの3点が主な魅力だったこと
6. 2. 今現在は、製造業が全体の約46%を占めていること
6. 3. 転職への意識が高いこと
6. 4. 50年前の日本とほぼ同じ人口構造だということ
6. 5. 求人方法は、求人広告・人材紹介・張り紙(特に工場)
6. 6. マネジメント層の不足
6. 7. 資格手当等、専門性を身につけて転職していく
6. 8. 日本で定年退職後のシニアの採用
6. 9. Vietnam Worksがベトナム国内最大の求人サイト
7. 研修を通して感じたこと:
結論: 今後、日本人は1つの分野に捉われず、2つ、3つと出来る職業・能力を増やし

となります。

「PIXTA Vietnam」のオフィスと社員の印象からも、今後が期待されます。

- 注1 音素材の販売は、開始済
注2 韓国Topic子会社化は、完了済
注3 韓国語版PIXTA開始は、開始済

ていく必要がある。

詳細: 理由としては2点

①「6. 研修での知識面での学び」により、ベトナムや新興国などは、人口を伸ばし、今の日本より高品質でかつ生産量を生み出し、日本のGDPを越していく懸念がある為、日本人は複数の分野を身につける必要があると考察。

【根拠】

- ・年々人口が増え、情報・交通・生活インフラ等も急速に整備され、企業に入るお金が増える。
- ・転職の文化とスマートフォンの普及により、どこにいても意欲があれば情報を得ることができ、専門性を高めることができる。
- ・人口増加が見込め、多くの企業がベトナムや新興国で事業を展開することが多くなると考える。

②寿命が延び、人生100年時代に突入する中で、技術革新等により、どのような職業、会社、業界でも淘汰が起きると考察した。

人口面で日本は、高齢化社会が進み、かつ、人口が減少しており2060年には総人口が9000万人となると言われている。日本社会において、今以上に生産性を高め、より選択肢を多く持つ必要があると考えた。何故なら企業よりも個人が、企業のように2,3手がけられる分野を持つことによって、時代や、勢いのある国の変化に柔軟に対応していくことが出来るからだ。そうする事で、高齢者となっても「6. 研修での知識面での学び」であるように、新興国でマネージャー等のポジションで採用されることも出来、職を失わずに働く事が出来る。

上記2点から、今後、日本人は1つの分野に捉

われず、出来る職業・能力を2つ、3つと増やしていく必要があると考えた。

8. 今後、個人として取りこんでいくこと:
下記2点に取り組んでいきたい。

①常に情報に触れ、仮説を立てて考え発信していくこと。新聞や、ビジネス雑誌等で常に世の中の流れを意識して日々過ごしたい。新しい話題に対しても自分の仕事や、将来をイメージする。様々な業界で活躍されている方々と多く接する機会があるので、自分の考えを発言し、別の方の考えなども取

「将来性が高い国ベトナム」

(株)スカウト 星野 順行

11月3日、ES NETWORKS VIETNAMを訪問しました。

レクチャーしていただいたのは、脇田遼さんと元リクルーティングキャリア社にいた笠松薫里さんです。笠松さんは、2年前にこの会社に転職してきて、現在、Business Advisory Managerを務めています。仕事は進出サポート等の労務、法務関連のコンサルティングを行うアドバイザーチームのマネージャーとして、チームを牽引しながら日系企業向け進出検討セミナーも手がけています。この会社の事業内容は、ベトナム進出企業に対する会計・財務・税務コンサル等で多くの日本企業をサポートしています。本社は、東京丸の内内にあり、日本国内5支店、海外5拠点に、総数260名が勤務しています。

今回のセミナーの内容は、①ベトナムの投資環境とトレンド②ベトナムの税務会計③地域別のトレンド④進出事例等です。

ベトナムの現状は、人口が約9270万人、人口構成は20才~30才が最も多く、GDPは成長率6.2%と急激な伸びを示しています。また、失業率も2.3%と低水準です。

ベトナムは非常に親日的な国です。日本研究機関として12の国立大学と公的研究機関があり、日本語学習者も24000人以上います。ベトナム人は非常に勉強熱心で、働きながら平日夜や休日に学校へ通う人が多く、給料の25%もつぎ込む人も多く見られるそうです。

労働倫理はまだ低く、相手のことを考える発想も薄いようです。共働きが一般的で、女性の方がよく働きます。日本語、英語の語学力はレ

り入れて、幅広い視点を身につけたい。

②採用代理店として、世の中の変化に敏感になり、今までにない採用の形を考え抜くこと。このまま求人倍率が上昇を続けた場合、今までの採用方法では通用しない。シニア活用、プチ勤務、B P分解。様々な採用の形が多くなっている中で、今後は、より採用手法や、雇用形態が増えていくと考える。常に可能性を探して、どうやったら採用が出来るのかを多くの情報に触れながら考え抜いていきたい。

ベルの高い人が多く、現在、企業では、経営者不足、マネジャー不足が問題となっています。

この様に東南アジアの中では、人材の面から見てベトナムが今一番進出しやすいのではないかと思います。

企業進出に関する全体的な環境をまとめてみました。

【メリット】としては、①安価で器用かつ豊富な労働力、②国内マーケットの今後の成長性、③安定した政情、治安の良さ、④日越の良好な関係、⑤20才代前半~30才代の消費意欲が旺盛が挙げられます。

【デメリット】としては、①部品の現地調達が困難、②インフラ整備の遅れ、③中間マネジメント人材層が薄く高賃金、④賃金の上昇傾向と物価高、⑤許認可獲得の煩雑さ、⑥2大経済圏が南北に分散していることです。

今回の研修で、ベトナムに進出するためのメリット、デメリットを分かりやすく、詳しく説明していただきました。ベトナムに進出する際には、是非、参考にしたいと思います。



海外広告ビジネス研修を終えて

広告業協同組合（ACA）副団長 常務理事 佐藤 孝

ACAの海外広告ビジネス研修は、11月2日から5日の日程で、ベトナム・ハノイで実施されました。

研修地として選定した理由は、中国、インド、アセアンといったアジア成長トライアングルの中心に位置し将来性があること。2016年のGDP成長率は6.2%。50年前の日本の人口ピラミッドに近似し、将来性が見込めること。また、ベトナム人の「勤勉」、「礼儀正しい」、「人柄がよい」、「親日的」といった民族的特性が優れていることです。ベトナム北部には、キャノンをはじめ多数の日本企業が進出しています。在留邦人は、約1万6000人、日本企業は、約1600社が進出しています。

政府ODAもインフラ整備だけでなく人材育成奨学計画にも向けられ、人的ネットワーク構築を通じた二国間関係の強化に寄与する人材育成が期待されていることがあげられます。

今回は日程の都合上、キャノン等の工業地帯の企業視察は適わなかったものの、ハノイ中心部に日本から進出した企業3社を視察することが

できました。

コーディネートも日本からの進出企業の方へお願いし、現地で活躍する日本企業のネットワークを最大限に活用させていただきました。

個々の内容については参加者からの報告に委ねますが、少子化が進む日本で事業を行うACA加盟各社にとっても、「ベトナム」は優秀な人材確保の為、検討に値するとの思いを強くしました。

また同時に、家族を大事にする民族性を理解することの重要性や人材確保のため労働環境整備がポイントである事に気づかされ、新たな発見の多い、実り多い研修となりました。

多数の参加者からもそれぞれの視点から学ぶことの多い有意義な研修となったと好評をいただき、H. I. D.（国際・研修部会）一同大変ありがとうございました。

今後も組合加盟社にとって有意義な海外研修を企画してまいりますので、機会がありましたら、是非多数の方の参加をお願いいたします。

（株）リクルーティングサービス 代表取締役

「PIXTA Vietnam」訪問レポート

（株）日経エージェンシー 尾島 匠

◇訪問企業：PIXTA Vietnam

◇担当者：小張 亮氏

「PIXTA Vietnam」訪問にあたり、ピクスタ(株)の概要を説明します。

主な商材は、デジタル素材のオンラインマーケットプレイス「PIXTA」です。

「PIXTA」は、インターネット上でクリエイターから集めた写真・イラスト・動画等のデジ

第17回「ACA海外広告ビジネス研修(ベトナム ハノイ)」参加者

	会社名	役職	参加者名
団 長	(株) ク イ ッ ク	代表取締役社長	和 納 勉
副 団 長	(株) リ ク ル ー テ ィ ン グ サ ー ビ ス	代表取締役	佐 藤 孝
担 当 理 事	(株) ス カ ウ ト	代表取締役	星 野 順 行
担 当 理 事	(株) マ イ ン ド シ ョ ー	代表取締役	今 井 祥 雅
担 当 理 事	(株) 小 島 折 込 広 告 社	代表取締役	小 島 正 登
理 事 理 事 長 代 行	(株) 一 広 グ ル ー プ ホ ー ル テ ィ ン グ ス	代表取締役	山 上 徳 夫
団 員	(株) F M N A C K 5	代表取締役社長	益 子 弘
団 員	(株) チ ア ー ズ	代表取締役	山 崎 和 之 進
団 員	(株) 日 経 エ ー ジ ェ ン シ ー	営業第5部 課長	尾 島 匠
団 員	(株) リ ク ル ー テ ィ ン グ サ ー ビ ス	営業部	坂 口 洋 輝
団 員	(株) リ ビ コ ー	代表取締役会長	星 野 時 夫
団 員	(株) 広 真 ア ド	代表取締役	真 下 富 雄
団 員	(株) 広 真 ア ド	顧問	近 藤 建 彦
団 員	(株) ニ ド	顧問	下 石 昇 司
団 員	広 告 業 協 同 組 合 (A C A)	事務局長	八 巻 正 己

(順不同 敬称略)

タル素材を、素材を必要とする法人・個人向けに販売するサービスです。プロ・アマチュアを問わず、オンラインで素材を投稿することができるプラットフォームをもっており、会社員、主婦、学生、シニア等からプロのフォトグラファー、イラストレーター、ビデオグラファーまで、国内外の幅広い層のクリエイターが、時間や距離、経歴や経験など既存の枠組みにとらわれることなく素材を提供します。

このように「PIXTA」では、多種多様なデジタル素材を求める購入者と、さまざまな属性のクリエイターから集まった素材をオンライン上でマッチングするサービスを展開しています。

ピクスタ(株)のグループ会社「PIXTA Vietnam」を紹介します。

PIXTA Vietnamは、国民性、経済性、リッチ環境から独自のサービスを発信しています。

【サービス概要】

①PIXTA

②fotowa (フォトワ)

プロ出張撮影をネット上で予約できるサービス（七五三、お宮参り、成人式、結婚式などで、記念写真を均一料金で撮影できる）

③Snapmart (スナップマート)

スマートフォンで撮影した写真を売買することができるサービス

(SNSなどの普及により、多様なニーズのマッチングを狙いとする)

上記を主軸としたサービスをベトナム支社で展開しています。

次に、なぜベトナムなのか？について、説明します。

1) 国民性：温和で勤勉。親日家のため、人材

投与がスムーズにできる。

2) 経済性：発展途上国のため、人件費の圧縮。また、物価も安い家賃も安い。

3) リッチ環境：日本からの時差2時間のため、本社との連携も取りやすい。

4) 教育レベル：ITに明るい人材も多く、大卒採用も可能（日系企業へのあこがれ）。

5) 外資参入：ホーチミンとは違い、ハノイは外資企業の参入が難しい都市。他企業との差別化や対立のリスクが少ない。

【今後の展望】

◇定額制販売の強化

⇒定額制にすることで、大量購入に向けたサービス

API連携等を通じた顧客獲得

◇素材の充実

⇒音楽素材の販売開始（注1）および動画素材とのクロスセル強化

まだ層の薄いアジアのローカルコンテンツ制作強化（地方、異国、ニッチ写真）

◇海外展開

⇒韓国Topic Images Inc.を子会社化（注2）、韓国語版PIXTA開始（注3）

⇒台湾、タイ両拠点にてマーケティング及び素材調達強化

各拠点でローカライズされた最適なサービスの提供体制を構築。加えて、PIXTA、fotowaのクリエイターを育成し、動画、写真の加工を通してユーザー満足度を高める。

【市場予想】

コンペティターの少ない業界のため、市場拡大が予想されます。また、撮影機材（カメラ・



信頼の世界品質、チャブ保険。

www.chubb.com/jp

CHUBB®

<取扱代理店>
有限会社エークイック TEL 03-5816-4661 FAX 03-5816-4660

ACA 第17回海外広告ビジネス研修

Advertising Cooperative Association

ACAベトナム研修報告

広告業協同組合（ACA）団長 理事長 和納 勉

本年度のACA海外広告ビジネス研修は、11月2日から5日まで3泊4日、ベトナムハノイを中心に15名の参加者で実施されました。

一行は8時55分羽田国際空港出発の全日空機で一路ハノイへ、ノイバイ国際空港に5時間ほどのフライトで予定通り到着、入国後ハノイ市内に向かい、ホテルにチェックインしました。市内の中心部に向かうバスの車窓からは、若い国ベトナムの勢いを感じさせるものでした。道路の渋滞は半端ではありませんでした。車の渋滞ではなく、オートバイの渋滞に一行は驚かされ圧倒されました。日本より少し小さい国土ながら、ベトナムは約9300万人の人口を擁し国民の平均年齢も若く日本では想像出来ないような若者の国です。市内視察に回った一行は、ハノイの旧市街を視察中にもオートバイの渋滞に巻き込まれ道路を横断するにも一苦労しました。

翌日は、朝一からビジネス研修を行い、ハノイに進出した日系企業のPIXTA Vietnam社やVietnam Works社での活躍やビジネスモデルのレクチャーを受けました。

その後ベトナム進出や会計・税務を中心にグローバルな展開をされているES NETWORKS VIETNAM社を訪問、ベトナムの市場や将来性をお聞きしました。各社とも勢いあるベトナムの市場に魅力を大いに感じておられるようでした。

翌日は予備日を利用して一

行は世界遺産に登録されているハロン湾の視察を行いました。海の桂林と言われるだけあって、島が浸食によって急峻な岩場となって湾一帯に広がっている光景は圧巻でした。

夜は名残惜しいがもう翌日には帰国ということで、美味しい創作ベトナム料理に舌鼓を打ちながら一行は交流を暖めあった一夜となりました。早速参加メンバーの中では、次のACA海外広告ビジネス研修の行き先などで大いに盛り上がりました。

翌日はフライトまでの時間を利用して市内の視察、ホーチミン廟を中心に旧市街の視察をしました。昼過ぎのフライトで、時差の関係で22時過ぎに羽田国際空港到着、解散となりました。

大いに刺激を受けるとともに、今後の経営の参考にもなるベトナム海外広告ビジネス研修となったのではないのでしょうか。

(株)クイック 代表取締役社長)



第17回「ACA海外広告ビジネス研修(ベトナム ハノイ)日程

1日目	11月2日(木)	午前集合 羽田国際空港出発 空路ベトナムへ。ハノイ(ノイバイ国際空港)着。専用バスで移動し、ホテルにチェックイン。午後 自由行動後、「LE TONKIN」にて夕食会。
2日目	11月3日(金)	午前10時 PIXTA Vietnamを訪問、小張亮様より「PIXTAデジタル素材マーケットプレイス」の講義を受ける。午後1時 Vietnam Worksを訪問。柴田洋明様、倉重紗弥花様より「海外求人・情報サイトについて」の講義を受ける。午後2時30分 ES NETWORKS VIETNAMを訪問。脇田遼様 笠松薫里様より「ベトナム進出企業の会計・財務・税務コンサルについて」の講義を受ける。
3日目	11月4日(土)	終日 自由行動。「MADAM HIEN」にて夕食会。
4日目	11月5日(日)	午前 自由行動。ハノイ(ノイバイ国際空港)出発。空路、日本へ、羽田国際空港着、解散。